



バリアフリー支援室

平成 30 年度

視覚障害のある方に対する ガイドヘルプ講習会の実施



【視覚障害のある方についての知識や一緒に歩くときのガイドを、ペアワークを通して学びました。】

日時:平成 30 年 10 月 25 日(木)14:30~16:00 場所:香川大学幸町北 4 号館 2 階 421 参加者:26 人



第1部 講義

「視覚障害への理解について」

- * 視覚に障害があるということは、視覚の機能(視力、視野、色覚、明暗順応、眼球運動)に色々な原因があり「見えにくい」、「見えない」といった状態のことです。
- * 「盲」と「弱視」の2つの区分があり、一人ひとりの見え方は十人十色です。
- * 「盲」は全く見えない状態のことで、点字や音声を活用します。
- * 「弱視」は文字を拡大したり、補助具を活用したりします。
- * 視覚障害のある人が実際に困ることは、「点字ブロックの上に障害物があって進めない」、「文字が小さくて読めない」などがあります。



講師紹介

香川県立盲学校

堀 雅之 教諭、宮本 格孝 教諭
吉田 満 教諭、佐々木 光毅 教諭
南 茂樹 寄宿舍指導員

第2部 実技

「ガイドヘルプの実際」

- * 基本姿勢は、手引き者が、視覚障害のある人の半歩前に立ち、肘の少し上の部分を片手で握ってもらい、手引きによる歩行を行います。
- * 狭い場所や階段と通るときは直前で止まり、目の前の状況を正確に伝えます。

* 「あっち」、「そっち」などの抽象的な表現は分かりづらいので、「右・左」、「〇〇m先」など具体的な言葉を使います。

受講者のアンケート

- * 視覚障害のある方が歩くときの不安な気持ちや、障害物が怖いなどの気持ちがよくわかった。
- * 実技を通して実際に援助することの難しさを学べた。
- * 道で実際に視覚障害のある方を見かけた時は今日学んだことを活かし実践したい。



バリアフリー支援室では、障がいのある学生の修学支援や学生生活支援を行っています。また、障がい学生を担当する教職員、障がい学生をサポートする学生にアドバイスをしたり、学内の調整を行ったりしています。支援を希望する方、支援に携わりたい方等、お気軽にご来室ください。

バリアフリー支援室 (087)832-1399 bf-support@ao.kagawa-u.ac.jp
北5号館1階。611教室のすぐ南側です。

